

研究・調査報告書

報告書番号	担当
62	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
Increased ethanol consumption and preference in mice lacking neurotensin receptor type 2. ニューロテンシン受容体 2 欠損マウスにおけるエタノール摂取と嗜好性の上昇	
執筆者	
Lee MR, Hinton DJ, Unal SS, Richelson E, Choi DS.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
<i>Alcohol Clin Exp Res.</i> 2011 Jan;35(1):99-107.	
キーワード	
ニューロテンシン受容体 2、エタノール、嗜好性、マウス	
要 旨	
<p>ニューロテンシン受容体 (NTS) は中枢神経系のニューロテンシン (NT) の生物学的機能の多様性を制御する。NT とニューロテンシン受容体 1 (NTS1) はエタノールの行動学的影響に関与するが、ニューロテンシン受容体 2 (NTS2) のエタノールの酔いや摂取への機能的役割についてはよくわかっていない。本研究では、NTS2 ノックアウトマウスを用いてエタノール摂取量と嗜好性を調べ、エタノールに対して NTS2 が調節に関与する行動学的影響について調べた。NTS2 ノックアウトマウスでエタノールによって誘導される運動、運動失調、催眠、低体温及びエタノール摂取量と嗜好性への影響について調べた。また、脳透過性の NT アナログである NT69L を用い、NTS2 の自発運動や運動失調、エタノール摂取量と嗜好への役割を調べた。この結果、NTS2 ノックアウトマウスではエタノールによる急性催眠効果に対する感受性が減少し、野生型の同腹と比べてエタノールをより摂取することがわかったが、運動や運動失調、低体温への影響はほぼ同程度であった。4 日連続で NT69L を投与すると顕著にアルコール摂取量と嗜好性が NTS2 ノックアウトマウス同様に野生型の同腹でも減少した。以上より、NTS2 がエタノールによる催眠とエタノール摂取量を調節することが示唆された。</p>	